

地域

行政区再編と校区見直しの議論を

住民自治意識の高まりが大切

問 この一般質問は、過去何名かの議員が質問し、将来の検討課題として先送りされているテーマです。

昨年の3月議会において、町長から「行政区再編は市町村合併より難しいと思っています」との発言もありました。長い歴史の地縁関係、地域文化の継承等々があり、大変な課題だと、私も認識しています。

しかし、行政区が抱える昨今の課題は、組合加入率低下の問題をはじめ、校区特区による育成会活動の困難化や担い手の減少、区民の高齢化など複雑多様化し、町の支援なしには解決しない事案が発生しています。

ここで、関係者による、行政区の再編を含めたさまざまな課題解決への議論をしてはどうでしょうか。

ていこうという住民自治意識の高まりとあわせて、分区や合併も含めた行政区の再編を行わなければ、見直しはできないと考えます。

答 御手洗子ども教育課長
小・中学校区は、各行政区単位で通学区域を決定しています。

通学距離や通学路の安全性の観点から、平成25年度に、学校を選択できる区域を設定しました。しかし、一つの区から違う学校に通学するというすれ違いが生じているため、選択区域の方々の意見を参考にしながら改善策を検討しているところです。

将来的には、行政区の再編とあわせて須恵町全体の校区の見直しも考える必要があるのではないかと考えています。



答弁中の中嶋町長



松山 力弥 議員

答 中嶋町長
人口増加や流動している現在の状況では難しい問題があります。あくまでもそこに住む人たちが、自分たちの行政区は自分たちがくつて、組合加入や区の運営もやっ

町政を問う！

一 / 般 / 質 / 問

設備

小中学校にエアコンの設置を

国の補助が活用できれば

問 今年も、例年になく平年を上回る暑い日が続く、特に7月初めから毎日30℃を超え、うだるような暑さが連日続いています。このような中で、児童・生徒たちは毎日学校で学習に取り組んでいます。

あらゆる会合の中で、保護者や子どもたちから「学校にエアコンはつかないのか」という意見を聞きます。近隣の町でも設置、検討されており、

須恵町においてもその時期にきていると思います。子どもたちの健康を考え、エアコンの設置が必要と考えますが、導入の検討はされていますか。

答 中嶋町長
糟屋地区では、粕屋町と新宮町が設置、古賀市と志免町が導入を検討しています。本町では、特別教室や多目的教室にエアコンを設置して

世利 孝志 議員



いますが、すべての普通教室に設置した場合の概算費用は2億6千万円、年間の電気代が1200万円程度必要になると思われます。PM2.5や光化学オキシダントなど大気汚染物質による環境問題を考えると、国の補

教育

運動会の時期を検討しては

5月が最適

助対象となる事業等を活用できるようにであれば、導入する方向で検討したいと思っています。

問

本町の小中学校では、運動会が5月に開催されていますが、暑さに加え、1月から5月はPM2.5の飛来が集中する時期とされています。健康面を考え、その時期は教室内の学習に集中し、熱中症を出さないためにも比較的PM2.5が少なく、気候も穏やかな秋に開催してはいいかがでしょうか。

答 安河内教育長
小・中学校の運動会・体育会が5月になった理由は、ひ

とつは二学期制導入により9月が前期終了前の成績処理等を行う時期に当たることです。二つ目は、年度の早い時期に実施することで人間関係の形成や集団における連帯感が深まり、それを学級経営に生かす効果があると考えられています。秋は、地域行事や社会体育行事等が集中すること、中学校では進路指導を行う時期であるため、開催時期は5月が適当と考えています。